

絆



第1回松耀祭開催！

10月10日（木）、松井田中学校としての初めての文化祭“第1回松耀祭”が開催されました。生徒会役員の熱い願いをきっかけに、全校で準備を進めてきました。初めてのことで大変なことも多かった反面、達成したときの喜びや感動は大きなものになりました。

午前中の合唱コンクールは、様々なことを乗り越えて一つの合唱を作り上げた各学級の成長を感じられるものとなりました。生徒の思いが伝わる、まさに「一期一唱」を感じられるすばらしい合唱の仕上がりでした。

午後のステージ発表では、自分たちの良さを積極的に表現している生徒達の様子が印象的でした。また、ステージ上の生徒を大きな声で応援し、全校生徒が一つになっている様子も見られました。松耀祭を実施してよかったと心から感じられる時でした。

松耀祭当日は、文化会館での合唱コンクール、そして、中学校での校内展示、ステージ発表にたくさんの保護者の方にも来ていただき、生徒の励みになりました。ありがとうございました。

この伝統は来年度以降も続いていくことでしょう。第2回松耀祭が、今から楽しみです。

令和6年度 合唱コンクールの結果

金賞	3年A組	指揮者賞	〇〇	〇〇さん(3年A組)
銀賞	3年B組	伴奏者賞	〇〇	〇〇さん(3年A組)
銅賞	3年C組		〇〇	〇〇さん(3年B組)
			〇〇	〇〇さん(3年C組)



～生徒の感想から～

歌っていくうちに大きい声が出せるようになってうれしかった。本番はとても緊張したけれど、練習どおりに歌えてよかった。本当に必死にがんばって練習したので、やりきった後の達成感がすごかった。終わった後、先輩に「声、めっちゃ出てたじゃん。」と言われ、とてもうれしく来年も歌いたいと思った。がんばることの大切さを教えてもらった気がする。(1年生)

合唱コンクールでは、最高の合唱にすることができました。最初のころは、まったく歌詞やリズムが合わず大変だったけど、練習を重ねていくうちにうまくなり、みんな練習していくうちにうまくなるんだと実感しました。来年は歌詞をしっかりと覚えて、完璧な状態で挑みたいです。(1年生)

今回は賞をもらえず声がかすれてしまったが、最後まであきらめないでみんな協力して歌えた。この協力できた経験は、様々な場面でも使えるので、次回の合唱コンクールでも、もっとその力を強められるようにしていきたい。(1年生)



一生懸命練習したことを合唱で解放して、みんなと感動を分かち合えてとても楽しかった。初めての文化会館での合唱だったが、失敗しなくて本当によかった。来年はついに3年生だから今年の合唱コンクールの反省を生かして、最高の合唱にしていけたらと思った。次はもっとクラスが一丸となって、統一感を出したい。(2年生)

中学校2回目の合唱コンクールをしてみて、3年生の歌声を聞いて、全員が大きな声を出していて、声が重なり合ったりしていたところなどを来年はまねしたいと思った。そして、今回、私はあまり自分の意見が言えなかったりしたので、来年の合唱コンクールではたくさんの意見を言い合って、もっと素敵な合唱をクラス、みんなで作っていききたいと思った。(2年生)

本番であんなに声が出せたんだから、もっと普段の練習で全員が真剣に取り組めるとよいなと感じた。合唱をすると1つにまとまれることを学んだ。来年は最後で、金賞を取れるようにもっと前から練習して、今年の発表より、5倍すごい、10倍きれいと思ってもらえるよう努力したい。(2年生)

3年生は最後なので、全クラス全力で練習に取り組んでいたと思う。合唱コンクールはクラスや学年でより仲を深めることができるし、協力しようと思えると思った。最後の合唱コンだったので、練習よりもうまく歌えてよかった。(3年生)

どのクラスも練習の成果を発揮し、本番で一番よい合唱ができていました。それぞれのクラスらしい歌声で、どの発表も楽しく聞くことができました。クラスのみならず、団結したり努力したりすればよい結果が出ることを実感することができました。(3年生)

がんばって一つの目標に向かってみんなで努力することは、かけがえのない財産になったし、悔しさを味わったことで、全力で何事にも取り組むことの大切さを学ぶことができた。自分なりに本番で全力を出せて、そこに関しては悔いは残らなかったのがよかった。この経験を生かして、これからも全力で何事にも取り組みたい。(3年生)



～学校運営協議会の方から感想をいただきました～

各学年、クラスがこの舞台に向けて練習を重ねた成果を惜しみなく発揮できたことと思います。特に3年生は最上級生として、指揮者の調和力(みんなを上手にまとめていました)、ピアノ伴奏者の気遣い(発声がピアノの音に負けることのないように、強弱をつけていました)、発声の力強さとハーモニーの調和(特に男性と女性の声の重なりが素晴らしかった)を感じられました。来年の第2回松耀祭に向けて、先輩としての立派な背中を後輩達へ見せることができたことと思います。合唱の優劣とは別に、こういった行事から生徒のみなさんが協調性をもって、自発的、主体的に取り組んでいる姿勢やわかりやすい言葉での進行、明確な役割分担によるタイムテーブルどおりの円滑な運営への配慮などがうかがえました。これは、授業参観では見えてこない生徒達の一面で、新鮮でした。全員が主役の松耀祭は、この松井田で一番輝いた一期一唱のブラボーな1日だったと思います。生徒達の思い出の1ページとして輝きを放つこの松耀祭が、回を重ねるごとにさらに光り輝く行事として、発展していきますように希望いたします。

